



## みんなで広げよう、シトラスリボンプロジェクト

### 喬木村はシトラスリボンプロジェクトに賛同しています

有志の住民の皆様にご協力いただき、12月10、11、14、17日の4日間でシトラスリボン作りを行いました。講師の市瀬邦子さんからリボンや水引の由来を聞きながら、楽しく作り方のコツを教えてくださいました。参加者からは「大切な事なのでもっと広めたい!」といった声が聞かれました。

出来上がったシトラスリボンは、12月19日にAコープたかぎ店前で行われた赤い羽根共同募金のお礼等で地域の皆様にお配りしました。シトラスリボン作りに参加していただいた住民の皆様、街頭募金にご協力いただいた人権擁護委員や婦人会、ボランティアの皆様、誠にありがとうございました。



→ 喬木村のシトラスリボン



← シトラスリボン作りの様子



→ 街頭募金の様子

## シトラスリボンプロジェクトって?

「ただいま」「おかえり」

家庭

地域

職場  
学校

コロナ禍で生まれた差別や偏見を耳にした、愛媛県の有志グループ「ちょびっと19+」がつくったプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなんだシトラス色のリボンを身に着けて、コロナウイルスに感染した方や医療従事者が、それぞれの暮らしの場所で「ただいま」「おかえり」と受け入れられる雰囲気をつくろうという活動です。シトラスリボンの3つの輪は、「地域」「家庭」「職場(学校)」を表しています。

飯田下伊那の各市町村では、飯田市男女共同参画課の協力の基、飯田水引を使用し叶結びでシトラスリボンが作られています。



皆様からお寄せいただいた飾りでアスボがクリスマスムードいっぱいになりました!



ご協力ありがとうございました!



## 伊久間つなぐ会 コロナ禍でのサロン活動の紹介

ランチ会を始めて3年目の春。ようやく軌道に乗り始めたところで、コロナのためにストップしてしまいました。この間、様々な地域の方々と顔見知りになり、声をかけていただけるようになりました。ランチ会がストップしても、このご縁をつなぎたいと思い、月に一回程度、ちょっとしたお菓子とメモを持って各家にお訪ねして、ご挨拶がてら近況をお聴きしたりしています。

なかなかコロナの先行きが見通せませんが、今後どんな形で何ができるのか、相談しているところです。

横前 光

(訪問時にお渡しするメモの一例)

寒い季節になりました。コロナで始まって、コロナ続投のまま暮れてゆく年になりそうですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。来年こそはコロナに終止符を打ちたいと、アマビエの絵を貼り付けました。丑年頑張れ!



例年よりは人の少ないお年越になりそうですが、いつも会って話せる身近な方たちとの結びつきを大切に、おいしいものを食べて飲んで、明るく新年を迎えられるといいなと思います。

来年もよろしく願いいたします。

まだ少しはやいですが、良い年をお迎えくださいませ。

令和2(2020)年12月 つなぐ会一同

## フードドライブ、布のご寄付にご協力ありがとうございました。



ご寄付いただいたお米やレトルト食品等の食料や生活用品は必要とされる方にお配りし、大変喜んでいただきました。

古布はぽけっとのグループホームや社協事業所にて活用させていただきます!

## 編集委員交代のお知らせ

編集委員の上杉さんが埼玉県へ引っ越すことになりました。そのため、ボランティアセンター準備委員会メンバーの高崎さんに新たに仲間に加わっていただきました。上杉さん、本当にありがとうございました。高崎さん、これからよろしくお願いします。

こんにちは! 上杉さんの転出により「さくみち」の編集委員をやらせていただきます、大島の高崎です。

皆様の声を聞き、皆様の心に寄り添えるような「さくみち」をお届けしたいと思っております。よろしくお願いいたします。



## さくみち編集委員会 自子委員長より新年の挨拶

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、サロン活動・スポーツ大会等の自粛が求められる中で、新年が始まりました。ボランティア活動では、これまでとは違う形での活動の模索も始まりつつあります。

『さくみち』はボランティアにかかわる皆様の情報交換の役立てて頂きたく、見やすい・読みやすい・親しみやすい情報誌を目指し、編集を行います。皆様からの情報が、『さくみち』を育てます。

令和三年 ますますよろしくお願いいたします。

